

京林大だより

No.37



絵:卒業生 熊走君

平成30年度入学式

4月9日、暖かい日が続きサクラの花が残ってくれるのかと心配しながら迎えた入学式。

今年も神奈川県から熊本県まで、各地から12名の若者が入学しました。

京丹波町長を始め多くの御来賓の方々に出席いただき、新入生達は期待の大きさに身が引き締まったものと思います。

また、式後は恒例となった和知駅前活性化委員会の皆さんのおもてなしを受け、少し緊張もほぐれた様子で笑顔を見せていました。

これから2年間、1人前の林業技術者を目指したくさん学んでくれることと思います。

皆様、7期生もこれまで同様よろしくお願い致します。



新入生代表が力強く宣誓



満開のサクラの下で記念撮影



餅つきを新入生も

恒例日本海ウォーキング

美しい新緑のもと、林大恒例行事の日本海ウォーキングを4月26日～27日に行ないました。

大江山連峰を縦走して天橋立に向かう約50kmのコースを、1・2年生が励ましあいながら踏破し、全員が無事ゴールできました。

大きな達成感と林大学生相互の連帯感を得ることができました。



気持ち良く稜線を歩く



きつい登りも



全員無事に天橋立到着



天橋立を見ながら昼食

林政ニュース

『国内の森林の蓄積について』

日本の森林の蓄積は、今の年間の伐採量が非常に少ないので、毎年1億立方メートルずつ増えており、森林林業白書には平成24年で49億立方メートルにもなると書かれています。

しかし、林野庁はこれとは別に森林の様々な調査を、全国約15000地点で5年を一期として定期的に実施しています。

最近21～25年度の調査がまとめられましたが、これによるとさらに多い78億立方メートル以上あるとの結果が出ています。

特に、広葉樹の蓄積が従来考えられていたよりかなり多く、約32億立方メートルもあるとの結果でした。

スギ、ヒノキなどの人工林だけでなく、広葉樹の資源もたっぷりある日本。

この豊かな森林資源をもっと利用することで、山村地域を豊かにしていけるよう知恵を絞りたいと思います。

* 参考 日本平成28年木材生産量
約2700万立方メートル

今月の授業参観

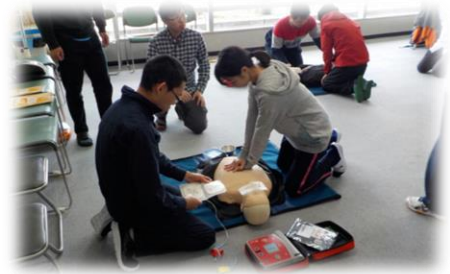
『救急救命講習』

林業の現場は、すぐには救急隊が到着できない奥地が多く、いかに自分の命を守るのか、傷ついた仲間をどのように助けるのか、救急隊が到着するまでの正しい救命方法を知っておく必要があります。

当校では入学後の一番最初の講義として「赤十字救急法救急員養成講習」を実施しており、今年度は4月16日から18日までの3日間、日本赤十字社京都府支部の指導員を講師に招き開催しました。

指導員に安全の確保や傷病者に対する配慮、三角巾の使い方、傷の手当ての方法などの技術指導を受け、実技試験の前日には、遅くまで教室に残って仲間同士で練習を重ねていました。

その成果もあり、今年度は全員が赤十字救急法救急員の資格を認定されることとなりました。



心肺蘇生法の実習



校長室より

山田知事さんありがとう

校長 只木良也

16年間京都府知事を務めた山田啓二さん、4月にご退任、ご苦労様でした。京都林大も、随分お世話になりました。

まずはその創設。山田知事の選挙公約にあった京都府立林業大学校の開校は、2012年4月実現。その新任校長の私は、府庁知事室で、知事から直接辞令を受け取りましたが、同時辞令交付の十数名のうち、私だけに知事は握手を求め、「よろしく。頑張ってください。」と激励の声を掛けて戴きました。これにはチョット感激！

以来、毎年の入学式、卒業式には、欠かさず知事祝辞を頂戴し、新入生・卒業生を激励して戴きました。一般行政面でも山田知事は、「森の京都」に力を注ぎ、農林業を基盤とする地域活性化に努力。そのための人材育成を目的とする京都林大は、ピッタリの路線でした。

「毎年の新年出初式の知事の年頭ご挨拶でも、府立林大の話が時折。勿論、重点課題の地方創生の話題はしばしば採り上げられました。

それも正月らしく、その年の干支と絡ませた上手い語り口で…。例えば昨年(酉年)、「地方創生」は「共生」あってこそ、今年も全力で地方創生へ向けて…。「酉」は「実り」をあらわす言葉なのだから、と。

2015年(未年)には、「未」が来ると書けば「未来」、未来への希望を、地方創生を基盤に京都から作り上げよう、と。

式後、たまたま知事と立ち話。私「いい話だった。それをリードするのは森林です」。知事「森林組やってくれるかね」。私「だって今年の元日は木曜日」。知事「そりゃいい。今のシャレ、他所で使ってもいいかね?」

毎年年度末には、卒業生代表知事への御礼挨拶。今年も。

これに同行した私は、4月退任間近の知事に、こんな風に挨拶しました。「色々有難うございました。将来『あの京都林大創設も、山田知事の大いなる業績』と高評価される林大を目指して、京都林業大学校一同努力します。」